

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第2区分

【発行日】平成17年7月21日(2005.7.21)

【公開番号】特開2003-164974(P2003-164974A)

【公開日】平成15年6月10日(2003.6.10)

【出願番号】特願2001-366376(P2001-366376)

【国際特許分類第7版】

B 2 3 K 11/11

【F I】

B 2 3 K 11/11 5 4 0

B 2 3 K 11/11 5 3 0

B 2 3 K 11/11 5 6 0 Z

【手続補正書】

【提出日】平成16年11月30日(2004.11.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

横向き姿勢に保持される溶接ガンの先端部に装着される溶接チップを板状電極上の工作物に向け加圧通電して抵抗溶接する抵抗溶接機において、この横向き溶接ガンの一つの定点で旋回できるよう支承する支承部材と、前記溶接ガンの後端部に接触又は離間して前記工作物にオン・オフ通電させる通電板と、この通電板を前記溶接ガンの後端部に向け突き上げる加圧部材とを設けることを特徴とする抵抗溶接機。

【請求項2】

さらに、前記溶接ガンの後端部の下面に当り面を設け、この当り面を前記溶接ガンの先端部に向けて上向きに傾斜させて成ることを特徴とする請求項1記載の抵抗溶接機。

【請求項3】

前記支持台に貫通させて昇降ロッドを設け、この昇降ロッドの頂端を半球状に構成することを特徴とする請求項2記載の抵抗溶接機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】 【課題を解決するための手段】 すなわち、本発明に係る抵抗溶接機は横向き姿勢に保持される溶接ガンの先端部に装着される溶接チップを板状電極上の工作物に向け加圧通電して抵抗溶接する抵抗溶接機において、この横向き溶接ガンの一つの定点で旋回できるよう支承する支承部材と、溶接ガンの後端部に接触又は離間して工作物にオン・オフ通電させる通電板と、この通電板を溶接ガンの後端部に向け突き上げる加圧部材とを設けることを特徴とする。